

## 第57回 全国母子生活支援施設研究大会

# 自由研究発表募集要項

全国母子生活支援施設研究大会は、全国の母子生活支援施設の役職員が集い、支援の質、職員の質のさらなる向上に資することを目的に、課題のある母子家庭の状況や母子生活支援施設における支援のあり方などについて研究協議を行う場です。

このような研究大会の主旨をふまえ、大会では毎年「自由研究発表」の時間を設け、各地域や各施設で取り組む研究や実践を発表いただいております。テーマごとの分科会にわかれ、大会参加者や助言者（学識者・関係者）とその取組みを協議し、発表者、参加者双方が今後の実践に活かしていこうとするものです（いわゆる「学会方式」）。

ぜひ日頃の研究や実践の成果をご発表いただき、実りある場としたいと願っておりますので、ふるってご応募いただきますようお願いいたします。

### 1. 各分科会のテーマと助言者

#### 第1分科会 制度施策・支援システムの構築

助言者 吉開 理恵 氏（福岡県久留米児童相談所 所長）

芹澤 出 （全国母子生活支援施設協議会 制度施策委員長/京都府・野菊荘）

母と子の安全安心・安定な生活の確保と自立支援に向けて、充実が急がれる制度・支援システム、支援ネットワーク、地域支援の課題などについて。

参考) 過去の発表テーマ

「社会福祉士実習プログラミングの実際」

「母子生活支援施設における父子世帯への支援の検討」

「地域に理解される母子生活支援施設をめざして～施設新築移転 10 周年を節目として～」

「人身取引被害者保護の実践」

「支援システムの開発・導入による安定した支援の提供」

「母子生活支援施設の支援の専門性についての基礎的研究」

#### 第2分科会 重い課題のある母と子への支援

助言者 日隈 利香 氏（鹿児島大学医学部保健学科臨床看護学講座 助教）

青戸 和喜 （全国母子生活支援施設協議会 研修広報委員長

/愛知県・岡崎市いちょうの家）

DV被害や児童虐待を受けた母と子、障害のある母と子など、重い課題のある利用者への支援をめぐって、日常生活場面での支援や権利擁護、母と子の関係調整、母子再統合の場となる取り組み、医療機関等他機関との連携などについて。

参考) 過去の発表テーマ

「母子生活支援施設におけるアセスメントならびに入所に伴う関係機関との連携のあり方について」

「『前向き子育てプログラム』を活用したストレス軽減による児童虐待・ネグレクト防止及び自立促進へのアプローチ」

「DV被害によるPTSDと鎮痛剤・アルコール依存への取り組み」

「臨床心理支援における取り組み」

### 第3分科会 自由テーマ

助言者 平田 ルリ子 氏 (全国乳児福祉協議会 副会長)

廣瀬 みどり (全国母子生活支援施設協議会 総務委員長/大阪府・東さくら園)

発表テーマは自由です。第1・2分科会と重ならないテーマ設定、たとえば第三者評価の受審や自己評価の取り組み、職場研修システムの開発、災害対応・リスク管理などについて。

参考) 過去の発表テーマ

「コーチング研修～ソリューション・フォーカス・アプローチの実践～」

「大規模地震災害の取り組みについて～BCP（業務継続計画）の作成～」

「九州地区母子生活支援施設児童合同キャンプ」の取り組み

「育つこと・育てること～癒しの場としての母子生活支援施設をめざして～」

「東日本大震災を体験した当事者として何を考えるか」

## 2. 自由研究発表の日時

平成25年10月4日(金) 9:00～12:00 ※研究大会2日目

## 3. 自由研究発表の進め方 (各分科会共通)

各分科会の発表者は3名(グループ)とし、以下のとおり進めます。

9:00 ～ 9:10 オリエンテーション、座長、助言者、記録者の紹介等

9:10 ～ 10:00 研究発表①(発表30分、質疑応答・意見交換10分、助言10分)

10:00 ～ 10:10 休憩・準備

10:10 ～ 11:00 研究発表②(発表30分、質疑応答・意見交換10分、助言10分)

11:00 ～ 11:10 休憩・準備

11:10 ～ 12:00 研究発表③(発表30分、質疑応答・意見交換10分、助言10分)

## 4. 応募方法

発表を希望する方は、応募用紙に必要事項を記入のうえ、全国母子生活支援施設協議会事務局宛、8月23日(金)までに、FAXにてお送りください。8月末日までに決定についてご連絡差しあげます。応募が多数の場合は、選考を行いますので、あらかじめご了承ください。

## 5. 応募にあたっての留意点

- 発表は1名でも複数名(グループ)でも構いません。複数名の場合には、応募用紙「1. 発表者の氏名、連絡先等」欄には代表者についてご記入いただき、「4. 通信欄」にグループ名とその他発表者の情報(都道府県・施設名・職名・氏名)をご記入ください。
- 大変恐縮ではございますが、発表にあたり、本会より研究大会の参加費、これに係る旅費等をお支払いすることはできかねますので、何卒ご了承ください。つきましては、発表のご応募とあわせて、同封しております研究大会参加申込書にて大会参加申込みの手続きをいただきますようお願い申し上げます。

## 6. 発表資料等

### (1) 発表資料について

発表決定を受けられた後、発表資料をご提出いただきます。参加者への配布資料(冊子)に発表資料を掲載いたしますので、印刷等の都合上、9月6日(金)までに全国母子生活支援施設協議会事務局宛にメールにて電子データをご提出いただく予定ですので、ご準備ください。資料はA4判6枚程度(参考資料除く)とし、入所世帯や関係者に関する個人が特定でき得る情報が含まれないよう、十分ご留意ください。

なお、パワーポイント等を用いて発表する場合には、応募用紙にその旨をご記入ください。

(2) 事前打合せについて

発表当日（10月4日（金））8時より、会場にて座長、助言者、記録者、発表者による事前打ち合わせを行いますので、ご予約ください。

※なお、発表にかかわる詳細は、上記の決定連絡以降、改めてご連絡します。

**7 自由研究発表に関するお問い合わせ**

全国社会福祉協議会・全国母子生活支援施設協議会事務局（担当：城（じょう））

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL：03-3581-6503 FAX：03-3581-6509

E-Mail：boshi@shakyo.or.jp

※ 応募用紙を電子データにて作成・送信したい場合には、お手数ですがE-Mailにてご連絡ください。

第57回 全国母子生活支援施設研究大会  
自由研究発表 応募用紙

1. 発表者の氏名、連絡先等

発表者氏名		職名	
所属施設名		都道府県名	
TEL		FAX	

2. 発表を希望する分科会（○をつけてください。）

<input type="checkbox"/> 第1分科会 <input type="checkbox"/> 第2分科会 <input type="checkbox"/> 第3分科会
----------------------------------------------------------------------------------------------

3. 発表を希望する取組みについて（概要を箇条書き等で簡略に記入してください。）

標題・テーマ	
取組みの目的・動機	
取組みの方法・内容	
取組みにより得られた成果	
今後の課題等	
発表の動機	(意見交換したい点)  (助言いただきたい点)

4. その他

パワーポイントの使用	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
通信欄	(事務局へのご要望等、連絡事項等)